



自分の考えをまとめる時に、鉛筆がとまってしまう。



考えを「まとめる」ためには、さまざまな知識や技能を必要とします。

まずは、表現することへの意欲があるか、次に主語・述語の関係を捉えているか、また語句の意味を理解できているかなど、練習問題を通してつまずきを丁寧に捉えることが大切です。

計算はできますが、文章題を正しく解くことが難しいです。



文章題を解くためには、そのプロセスの理解が必要となります。

演算決定が正しくできても、「6-8」などと立式する場合もよくあります。また、ありえない答えになっていることに気づかないこともあります。解決の手順を視覚化することが有効です。

語彙の少なさや、語のまとまりの捉えにくさから音読が難しいです。



語彙には、これまでの生活経験が大きく関わってきます。生活と言葉をつなぎながら、まずは言葉を獲得していくことから始めます。次に、言葉と意味をつないでいきます。どちらも楽しみながら進めていくことがポイントです。

繰り返し練習をしていますが、漢字の定着が難しいです。



「練習がたりないから書けない」と思われがちですが、そうではありません。漢字の読みと書きのどちらにつまずいているのかを捉えることが大切です。また不器用さや視知覚の弱さが背景にある場合もあります。

国語科の授業において

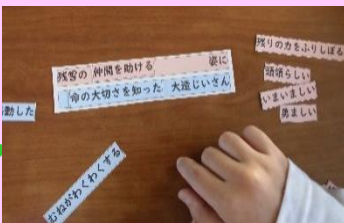
①表現することへの意欲があるか。

① 話型や文型を提示する。

②主語・述語の関係を捉えているか。

②「文章再現カード」を操作して考える。

キーワードが書かれた「文章再現カード」を操作しながら自分の考えをまとめます。



③語句の意味を理解できているか。

③画像によるイメージ化を図る。

言葉カードを使って何度も考え直すことで、大造じいさんの人物像をまとめることができました。

5年生「大造じいさんとガン」の実践へ

算数科の授業において

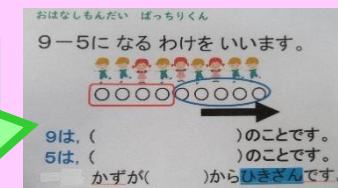
①問題場面が理解できているか。

① 動画等の視覚支援を取り入れた問題提示を行う。

②数が何を表しているのか理解できているか。

②「お話問題ばっちりくん」を用いて説明する。

演算決定の根拠を絵・図・言葉をもとに分かりやすく説明します。



③解決の手順を理解できているか。

③「お話問題読み取りくん」を使って考える。

今まで説明はできなかったけど、「ばっちりくん」を使うとできました。うれしかったです。

1年生「たすのかな ひくのかな」の実践へ

FU勉強会において

①「言葉カード分析」を使って絵を見て名前を言わせる。

②「言葉絵カード」を使って言葉と絵をマッチングさせる。毎日、放課後に時間を計って1つずつ絵を見ながらその名前を言わせる。

③果物・野菜・動物・乗り物など、生活になじみのあるものの絵カードを用いて行う。

言葉を素早く思い出すことを大切にしています。



言葉をはやくいっぱい言えるようになったよ。毎日、先生といっしょにやって楽しかったよ。

「言葉絵カード」の実践へ

通級指導・FU勉強会・家庭学習において

①漢字テストをもとに「漢字誤り分析」を行い、想起の仕方や見え方を捉える。

②選択型漢字テストを実施したり、「漢字イラストカード」を作成したりする。



表には熟語を表す絵を裏には熟語の読みや自分なりの覚え方をかきます。

たしかめようのテストで初めて90点とれました。この方法でたくさんの漢字を覚えていきます。

「漢字イラストカード」の実践へ

計画的・継続的・組織的な研究体制づくり

校長



四季が丘小学校では、学びの変革パイロット校事業と学力フォローアップ校事業を両輪に据え、全教職員で研究に取り組んできました。ブラッシュアップを重ねた学習指導案と明日からの実践に生きて役立つ研究協議が自慢です！

学びの系統性と具体的な支援や手立てを明記した **学習指導案**

校内研修での学びの内容をまとめた **研究推進便り**

具体的な支援や手立ての活用をふまえた **効果のあった実践事例**

手立てや支援のヒントとなった **参考文献**
(例)『コグトレパズル』
宮口幸治著 (SDクリエイティブ)



教頭



職員室では、担任、FU教員、通級指導担当、研究推進教員が「気になるあの子」の学びの姿やがんばりを伝え合う場が見られます。できるようになったことがひとつ、またひとつと積み重ねることが児童と教員の元気とやる気につながっています。児童と教員が安心して学べる環境づくりに努めています。



ポイントは「小さな成功体験の積み重ね」

安心して学べるFU勉強会

・FU勉強会に来てから、算数の点が上がって算数が好きになりました。6年生になってから大変になるから、今、勉強会に行っておいてよかったと思いました。(5年生児童)
・自分の力で問題をといてみます。(3・6年生児童)

安心して学ぶ環境づくりに努めました。あきらめずに自分の力で学びに向かう児童が増えてきています。(FU教員)

宿題をやり終えているからか、家で「自主勉やっているよ。」という言葉をよく聞きます。今まではほとんどやることがなかったことを自ら取り組む姿に感激です。(保護者)

学習指導案や教材・教具(文章再現カード、お話問題ばっちりくん等)、研究推進便りなどをホームページに掲載しています。

←こちらの「パソコン博士」のマークが目印です！

<http://www.hatsukaichi-edu.jp/shikigaoka-e/>

